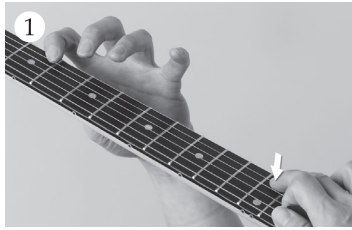


【注意点1】

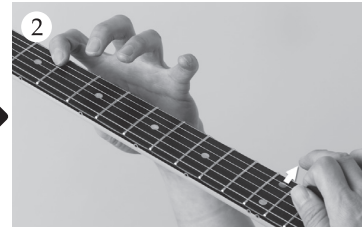


少し暴れるくらいでもOK!
小指を大きく振り上げよう

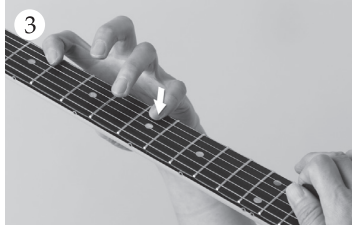
【Intro.】3小節目のタッピング・フレーズは、かなりのストレッチになるので、親指の位置を下げながら、左手をしっかり広げることが大切だ(写真①~④)。ストレッチをすると、小指のハンマリング音が弱くなることが多いので、スムーズに動かすというよりは、“少し暴れる”くらいのイメージで、小指を大きく振り上げるとよいだろう。



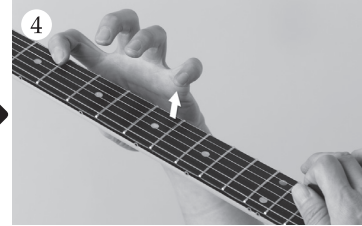
① まず2弦12fを右手でタップする。



② 右手のプリングで3fへ。小指は大きく振り上げておく。



③ 小指を力強く振り下ろして、7fをハンマリングしよう。



④ 指を弦にしっかり引っ掛けて、プリングを行なってほしい。

【注意点2】



中指を滑らかに動かして
ストレッチを攻略せよ!

【B】4小節目のストレッチ・フレーズは、人差指と中指の間隔を的確にコントロールすることがポイントになる(写真⑤~⑧)。人差指と中指の間隔は、中指をスムーズに動かしながら、1弦を弾く時には離し、2弦を弾く時には近づけるようにしましょう。また、手の小さい人は、2弦を中指で押さえる時に小指も人差指と中指に近づけてみてもよい。



⑤ 4小節目1拍目。小指で1弦14fを押さえる。



⑥ 1弦9fへ。ここまでは通常のストレッチ・フォームになる。



⑦ 人差指と中指を近づけながら、2弦9fを中指で押さえる。



⑧ 再び1弦9fへ。人差指と中指を離そう。

【注意点3】



左手の運指中に
右手を準備しておくべし!

【End.】には、高度なスウィープ+タッピング・フレーズが登場する。まず、ダウン・スウィープ後の1弦上でのハンマリング中に、右手を1弦21フレット上に待機させておこう(写真⑨&⑩)。そして、右手のタッピング&プリングは、指板に対して指を真っ直ぐ振り下ろし、指を弦にしっかり引っ掛けるようにすることが大切だ(写真⑪&⑫)。



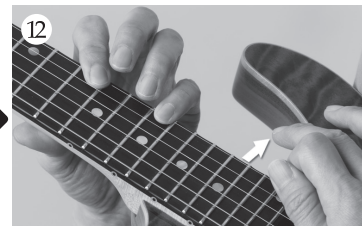
⑨ 【End.】2拍目。スウィープで、1弦14fを鳴らそう。



⑩ 小指で17fをハンマリングする。右手は21f上で待機。



⑪ 右指を真っ直ぐ振り下ろして、21fをタップする。



⑫ 右指を弦にしっかり引っ掛けて、プリングしよう。

【指板に対して指を真っ直ぐ振り下ろし】特にこのフレーズは1弦上で展開しているので、指を斜め方向から振り下ろすと、弦落ちすることがあるので気をつけよう。獲物(弦)は、真っ直ぐ狙うべし!